

県協会 4 種登録岡山地区チーム各位

酷暑の中、ご指導、運営等、サッカーへのご尽力誠にありがとうございます。先日の豪雨での災害に見舞われた皆様、復旧への歩みはいかがでしょうか？一日でも早く、少しずつでも以前の状態に近づくことをお祈りいたします。

今回は、日本サッカー協会競技運営部よりの、夏場の大会開催や練習等の活動において、酷暑に対しての熱中症対策、落雷に対しての注意喚起、対策の情報になります。

以前、お送りした熱中症対策は再度になりますが、落雷の注意におきましても、皆様情報として覚えておきましょう。

以下、内容について

【熱中症、暑さにつきまして】

1. 天候、予報などの事前情報をもとに開始前に審判団共々、必ず打合せが必要です。大きい大会以外の練習等でも、参加者、保護者などに情報の周知を徹底しておきましょう。
2. 飲水タイムやクーリングブレイク以外にも、休憩、避暑、飲水、身体を冷やすなどの対応があってもよいかと。(試合時間は短かくするなど)
3. 氷嚢や、氷など身体を冷やす準備を各チーム、主催者側も用意、心積もりが必要です。救急の対応、近くの病院の確認などは大丈夫でしょうか。各保護者、各チームの帯同指導者の連絡先の確保などもいざという時大事だと思います。

【落雷について】

1. 落雷の状況になれば、すみやかに活動を中止して、避難の必要があります。事前に中止決定権がだれに、どこにあるのかを周知しておきましょう。現場に決定権者がいない場合もあり得ますので、現場での決定権者を決めておかないといけません。
2. 雨が降っていなくても、雷鳴が聞こえていなくても、突如の落雷はあり得ます。安全な建物、車の中など避難場所、経路を確保しておきましょう。
3. 簡易のテント内や、屋根のない観客席などは安全確保ができません。
4. 試合スケジュールに余裕をつくっておくことも考えましょう。

添付資料を今一度、確認をしておいてください。不測の事態はどんなときもあり得ます。事前の準備をしておくことで防げた事故、副次的な事故だけはないように安全な活動を心掛けて、サッカーを楽しみましょう。

県協会 4 種委員会岡山地区委員長三村 英司 (ウェンブリーユナイテッド F.C.)